

# 学習辞典編纂のための形容詞の意味ネットワーク記述・試論 —「小さい」を中心に—

今井新悟（山口大学留学生センター）

森山新（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

荒川洋平（東京外国語大学留学生日本語教育センター）

## 0. はじめに

本稿では、我々がこれから作成しようとしている認知言語学的アプローチによる日本語の学習者用辞典の概要について述べる。本辞書は以下のような特徴を持つ。基本語を扱う。辞書の利用者の中・上級の日本語学習者を想定する。基本語を扱いながらも、中・上級者向けであるのは、単なる対訳語辞書ではなく、多義性・意味拡張を理解してもらうのが主眼であるからである。また、学習者用の辞書であることから、学習者の語の意味全体の理解を助けるため、国語辞典のような語義の定義・羅列ではなく、意味の相互関係・全体像、すなわち意味ネットワーク構造を示すことを目指している。具体的には中心義（基本義）から意義展開する展開義（派生義）がどのような関係になっているのかという拡張の動機付けを示す。拡張の動機付けにはメタファー、メトニミー、シネクドキなどがあり、これらの動機付けを伴って、多義語の中心義（プロトタイプ）が意味拡張を起こしているが、これを矢印等を使って可視化する。その他に、イメージイラストを用いて理解の助けとする。また、関連語句の説明なども加える。

本稿ではこれら辞書の特徴について、それぞれがどういう意図を持っているかについて紹介する。その一例として、認知言語学的な語の研究対象としてこれまで取り上げられることの少なかった形容詞、「小さい」を取り上げて記述を試みる。辞書というからには、先行研究の多寡に関わらず、形容詞・副詞といった品詞も取り上げざるを得ないからである。

## 1. 先行辞書

### 1.1. 英語辞書

我々の辞書は認知言語学的アプローチを取るが、認知言語学の見地から語義分析の研究があり、それらの成果をもとに、記述を試みた英語辞書が既にある。たとえば『Eゲイト英和辞典』（ベネッセコーポレーション）では語の意味の全体像を示す「コアのイメージイラスト」が示され、『英語語義イメージ辞典』（大修館書店）では「原義をなぞったイメージ」が言葉で説明され、『英語多義ネットワーク辞典』（小学館）では中心義と意味のネットワークが言葉や図で説明されている。

日本語辞書に先行している英語辞書から学ぶべきところは大きいですが、それぞれ課題に課題も見える。『英語多義ネットワーク辞典』は我々の目指す辞書の雛型となるものであるが、「研究者向け」としているように、拡張の動機づけなどの記述内容が、正確さを追及した結果、難解なものとなっている。『Eゲイト英和辞典』は、イメージとしてイラストを活用し、これは「コアイメージイラスト」と呼ばれる。そしてこの辞書の帯に『『新感覚★キーワードで英会話』で話題のコアイメージが分かる辞典！！』という文字が躍っているように、このコアイメージこそがこの辞書の最大の特徴ということだと思われる。しかし、実際には、コアイメージイラストで説明されるものは極めて少なく、見出し語7万5千語中121語に過ぎない。よって、コアイメージイラストによって、感覚的に英語が理解できるという目標は到底達せられるものではなかろう。またコアイメージは抽象的であり、学習者には難解であり、とりわけ初級～中級の学習者には理解が難しいことがある。『英語語義イメージ辞典』は分かりやすいが、理論的な裏づけのない散漫な記述に留まっている。

## 1.2. 国語辞書

日本語においては未だ認知言語学的アプローチ、特に意味ネットワークからアプローチした辞書はない。研究としては、たとえば森山(2008)など一連の研究は助詞を対象とした認知言語学のアプローチによる研究であり、また、森田(1989)は認知言語学的と銘打ってはいないものの、詳しい語義の分析を行っており、認知言語学的研究にとって有益な情報を与えてはいるが、これらを反映した国語辞典や学習者用の日本語辞書はない。

たとえば、『大辞林』(WEB版)における見出し語「小さい」の意味説明は以下の通りである。この辞書では、使用頻度の高い語義から低い語義へと並んでいることは、他の辞書と比べて一日の長がある。しかしながら、各語義の関連付けはないため、それぞれの語義がネットワークで結ばれず、羅列であることは他の辞書と同然である。

- (1)容積・面積・身長などの占める場所・空間が少ない。  
「一・い入れ物」 「一・い円」 「一・い順に並ぶ」  
「一・きものはみなうつくし(枕草子 151)」
- (2)規模がわずかである。勢力が弱い。  
「一・い会社」 「一・い派閥」
- (3)数量が少ない。  
「一は二より一・い」
- (4)年齢が少ない。幼い。  
「一・い頃の話」 「一・い弟妹たち」
- (5)音量が少ない。  
「声が一・い」
- (6)度量が乏しい。包容力に欠ける。  
「人物が一・い」 「気が一・い」
- (7)重大でない。重要でない。  
「一・いことにくよくよするな」 「一・いミスまで指摘する」

## 2. 形容詞

形容詞が助詞、空間移動動詞、名詞などと比べて、スキーマ、プロトタイプ、比喩、意味ネットワークといった研究の対象となることは比較的少なかった。その理由を以下のように考える。動詞の意味はその動詞の取る項によって規定される。たとえば「切る」では「紙を切る」と「縁を切る」の場合、項が「紙」であるか「縁」であるかにより、前者の「切る」はプロトタイプとしての切断の意味が付与され、後者の「切る」はメタファーとして「関係を絶つ」に意味が拡張している。動詞は項構造を内包していると考えられ、動詞の取る必須項の表層格とその意味役割は動詞自体によって規定される。また、表層格と意味役割の関係は1対1ではないにしても、関連していることは自明である。よって、動詞においては、項構造を出発点として意味拡張が議論できる。動詞「切る」はそのネットワーク構造でとらえられる各意味を内包するスキーマを持っている。項を取るにより、そのスキーマの一部がプロファイルされ、意味ネットワーク内の個々の意味が規定される。

これに対して、形容詞は、たとえ項構造を有するとしても、動詞のような多種類の項をとるわけではない。形容詞の項構造は叙述用法に現れ、項が形容詞の意味を規定する。たとえば、「手が小さい」では「手」は「小さい」が取る項である。しかし形容詞は共起する格・項の種類・数が動詞に比べて貧弱なため、格と項を中心とした動詞の意味ネットワークの考察手法をそのまま適用することはあまり効果的ではない。加えて、限定用法では格が現れず、被修飾語により形容詞の意味が規定される。「小さい手」と「小さい声」では、前者は「手」により「小さい」の意味が物の大きさに、後者では「声」により「小さい」の意味が音の大きさに規定される。このように、項構造に基準を置ける動詞と異なり、形容詞の場合、形容詞単独で意味拡張の分析はできず、表層格の有無によらず、共起関係(コロケーション)の分析を通じて分析せざるを得ない。

しかし、これは、形容詞の意味記述をすべてコロケーションの記述をもって代えるということ

ではない。コロケーションの意味は形容詞の意味記述の拠り所であるが、もちろん形容詞の意味と共起する名詞の意味が同じであるはずはない。たとえば、「小さい家」「影響が小さい」「小さい夢」「小さい世界」というコロケーションから、「小さい」の意味を「家、影響、夢、世界などが大きくないこと」としてもそれは共起する名詞の羅列に過ぎず、「小さい」の意味の説明にはならない。先に、「コロケーションの分析を通じて」としたのは、それにより、形容詞の意味を浮かび上がらせるという意図である。たとえば、「小さい家」は言えるが、「小さい距離」は容認度が落ち、「小さい時間」は言えない、といった分析を通して、「小さい」の意味を浮かび上がらせることができるだろう。

翻って、名詞や動詞の意味について見ても、やはり、コンテキスト、コロケーションなしには、意味の確定ができないということに気づく。たとえば「切る」のそれぞれの意味は「木を切る」「首を切る」というヲ格名詞を拠り所として、「目」のそれぞれの意味は「目鼻」「碁盤の目」という使用されるコンテキストやコロケーションにより決まってくるものである。

### 3. 辞書の内容

#### 3.1 辞書で採録する語

原則として『日本語能力試験出題基準』の4級・3級で、通例の国語辞典（特に『大辞林』を参照した）で4分類以上の意味があるものという基準に従う。見出し語には、日本語能力試験のレベル、品詞・漢字・音読み・訓読みの情報も示す。中心義および各展開義には例文を示す。

#### 3.2 中心義

辞書ではまず、最も基本となる、中心的な意味を中心義として挙げ、その意味定義を簡便な日本語で行い、さらにそれを英語・中国語・ハンダに翻訳したものを添える。中心義とは、派生義展開の起点となるもので、コーパスをから分かる頻度、プロトタイプ性・起点妥当性により決定する。

頻度を参照するときは以下のことに注意を払う必要がある。まず、コーパスの選定であるが、残念ながら英語の辞書で用いられるコーパスに匹敵する日本語のコーパスはまだない。大規模均衡コーパスは国立国語研究所のKOTONOHAの完成を待たなくてはならない。さしあたってコーパスの規模、代表性に目をつぶって、利用できるものに Sketch Engine がある。「小さい」のコロケーションの頻度を調べると以下のような結果を得る。このシステムでは、単純な頻度（たとえば「頃」の1630）のほか、「結びつきやすさ」（同9.79）をあるモデルで産出していて便利である。

#### 小さい JpWaC freq = 30481

head	N 6011 49.9	Nは	4944 31.7	Nが	6019 27.1	modifies N	4688 26.2	score	2340 0.9
頃	1630 9.79	規模	178 7.28	規模	371 8.29	サイズ	138 7.72	軽い	112 7.84
ころ	365 9.17	動き	148 6.6	サイズ	154 8.07	お子さん	73 7.62	見づらい	17 7.74
とき	427 6.72	サイズ	41 6.25	字	88 7.45	子	367 7.58	小さい	206 7.74
うち	163 5.88	スケール	16 6.09	面積	62 7.3	勇者	31 6.75	かわい	60 7.57
時	386 5.71	幅	31 5.9	スケール	37 7.1	子供	347 6.71	丸い	32 7.56
くせ	14 5.6	リスク	44 5.73	容量	44 6.96	字	53 6.5	可愛らしい	20 7.51
もの	598 5.06	確率	17 5.34	負荷	40 6.93	お子様	27 6.44	可愛い	50 7.36
わけ	38 4.87	一つ一つ	9 5.24	背	43 6.91	子ども	164 6.05	かわいらしい	13 6.93
の	792 4.83	マーケット	12 5.07	幅	46 6.37	女の子	41 5.74	細い	27 6.89
ん	112 4.73	割合	21 5.03	文字	89 6.25	穴	32 5.69	薄い	43 6.79
まま	33 4.61	インパクト	9 4.95	胃	20 6.18	やつ	32 5.66	弱々しい	9 6.74
ほう	71 4.47	格差	13 4.92	ファイルサイズ	14 6.18	粒子	18 5.65	大きい	268 6.53
うえ	9 4.45	差	41 4.91	音量	18 6.16	文字	57 5.51	鋭い	44 6.16
はず	15 4.2	背	9 4.81	画面	48 6.04	声	133 5.49	速い	29 6.14
ところ	140 4.13	面積	10 4.81	振幅	13 6.04	表示	33 5.48	質しい	21 6.1
せい	11 3.96	音量	6 4.8	抵抗	30 6.01	島	39 5.47	弱々しい	10 5.95
割	11 3.95	見た目	7 4.75	比重	16 5.93	男の子	20 5.46	四角い	6 5.92
方	232 3.91	扱い	13 4.75	質量	13 5.82	虫	19 5.46	鋭い	13 5.89
ため	143 3.69	メリット	12 4.71	器	53 5.77	赤ちゃん	20 5.43	白い	30 5.87
為	11 3.51	自体	25 4.69	パイ	12 5.71	画面	33 5.35	狭い	25 5.74
もん	6 3.44	影響	65 4.65	リスク	43 5.63	ガッツポーズ	11 5.33	固い	10 5.71
よう	93 3.31	画面	16 4.53	扱い	24 5.53	単位	30 5.3	黒い	16 5.59
物	34 3.08	赤ちゃん	8 4.53	格差	21 5.5	会社	132 5.26	柔らかな	9 5.58
ごと	477 2.94	ダメージ	6 4.41	係数	10 5.49	魚	27 5.22	安い	29 5.26
事	38 2.78	突動	8 4.39	差	62 5.47	ため息	12 5.17	細かい	17 5.2

図1 Sketch Engine による「小さい」との共起する語の頻度

図1から、それぞれ、共起する名詞のグループが見て取れる。これらは各語義を考えるのに有益な情報となる。ただし、コーパスの大きさにもよろうが、ある程度大きなコーパスを用いたとしても生じる限界もある。まず、低頻度あるいは例がないものだが、直感として、基本的な使用であろうと思われる例がある。たとえば、「小さいジョッキを一気に飲み干した」のような例がほしいところだが、そのような例は Sketch Engine では拾えていない。その逆に、最高頻度を示すものが、もっともプロトタイプ的であると単純に言えないことは自明である。コーパス・頻度は現状では、あくまで参考の域を出ない。

起点妥当性は、それを起点とすることによって、他の展開義がいかに説明しやすくなるかということである。初山(1994)は形容詞の分析を行った数少ない先行研究の一つであるが、「かたい」の基本義を次のように定義している。

＜単一の固体に関して＞＜外部から加えられる＞＜力に対して＞＜抵抗感を感じさせる＞＜さま＞

綿密な分析・考察の結果導き出された基本義の定義である。それぞれ＜＞で囲まれた部分が意味拡張の動機付けとなって、それぞれの展開義へと連なっていく。ただし、上の定義をそのまま辞書の記述として採用すると、英語の辞書の轍を踏むことになるので、これをどのように学習者レベルの記述に落とし込んでいくかという課題が辞書執筆者には課せられている。

服部(1968)は、「広い／狭い部屋」は言えるが「広い／狭い紙」は言えないことから、「広い／狭い」の意味として＜人間のはいり得る物体・空間＞を挙げている。これは、経験基盤を基本とする認知言語学の立場に合致している。我々の辞書でも意味定義でも経験基盤、そしてできるだけ、身体経験基盤を中心義に据えたい。「小さい」の中心義の定義には、「標準や他と比べて」という文言を盛り込むことによって、「主体による標準・基準の認識と設定」、「主体による比較」という意味付けをしたい。また、「軽い」ならば、「小さくて動かしやすい」といった定義を与えて、「主体と対象との物理的なかわり方」「主体による判断」という意味付けを行いたい。

### 3.3 展開義

中心義から意義展開した展開義(派生義)についても日本語で定義し、その翻訳を付ける。

前述の通り、形容詞の意味の場合、表層格の有無によらず、共起関係(コロケーション)の分析を通じて分析せざるを得ない。共起関係を分析する方法として、コロケーションの共起頻度と意味ネットワークの構築の整合性を手がかりとすることも既に述べた通りである。形容詞と名詞の共起頻度の高い組み合わせは、形容詞がその名詞を修飾して意味が通るように意味拡張が定着していることを示唆しており、それを参考にしながら、展開義としてまとめる。そのようにして集まった中心義および展開義間の関係は意味ネットワークにまとめる。この際にはたとえ中心義だとしても必ずしも使用頻度が最大であることにはこだわらず、ネットワークの関連づけが整合的に行えるかどうか、つまり起点妥当性を最優先することもすでに述べた通りである。

展開義の配列順序は、中心義を起点として、プロトタイプから非プロトタイプへという方向を持たせる。そのために、定義文や例文として現れるコロケーションは、具体から抽象へ、高頻度から低頻度へ、内包から外延へ、という順序にする。

### 3.4. 意味ネットワーク

本辞書の特徴の一つとして、中心義、意味拡張・転義とそれらの意味ネットワーク構造がある。中心義からどのように意義が展開しているのかが分かるようにネットワーク状にして示す。ここで使った矢印には3種類があり、実線がメトニミー、破線がメタファー、一点鎖線がシネクドキシの関係にある展開であることを示している。(ただし、「小さい」の冷にはシネクドキシ関係がない。)  
「小さい」について見れば以下の通りである。

[1] 数・量が少ない

メタファー：特性類似：物の大きさ⇒数の大きさ

[1a] 音量が低い

メタファー：特性類似：物の大きさ⇒音量の大きさ

[2]程度が軽い

メタファー：特性類似：物の大きさ⇒程度の大きさ

[3]年齢が低い。若い。

メトニミー：物で特性：体の大きさを年齢の高低

[4] 入れ物が大きくないことを述べて、中身が大きくないことを表す。

メトニミー：入れ物で中身

[4a] 入れ物としての組織が小さいことを述べて、中身である構成員が少ないことを表す。

メトニミー：入れ物で中身：組織で構成員

[5]心、気持ち、度量、夢、希望が大きくない

メタファー：特性類似：物の大きさ⇒気持ち・精神の大きさ

動機付けとしてはメタファー、メトニミー、シネクドキを立てる。全体・部分はメトニミーとし、分類上の上位・下位はシネクドキとして区別している。(分類上の上位・下位を全体・部分としてメトニミーとする立場には立たない。)意義展開の動機付けにメタファー、メトニミー、シネクドキを使う場合の課題として、あいまい性と多重性(多階性)がある。

あいまい性とは、二つ以上の解釈ができるという場合であり、多重性とはある動機付けには、その前に前提として他の動機付けが存在する場合である。

まず、あいまい性について見ると、「緊張してかたくなっている」という例では、メタファー解釈(特性類似：物⇒精神)と、(初山 1994)が述べているように、メトニミー解釈(『精神的な緊張状態』と『肉体(筋肉や関節)的なカタサ』(基本義)は同時に生じる、言い換えれば『通常、精神的に緊張しているときは、肉体的に筋肉等がカタクなる』)の両方の解釈が可能である。後者のメトニミー解釈は、動機付けが強く、解釈にかかる認知的負荷が少ないだろう。異なるドメイン間の類似性によるメタファーよりも、同一ドメインにおける隣接性による1現場・1回認知の方が直接的であるから、動機付けが強く、同一ドメイン内での解釈の方が異なるドメイン間に跨る解釈よりも認知的負担が少ない。(さらに、説明力の高さという点では、同じメタファーでも、Lakoff & Johnson (1980 他)の Metaphor 理論のように Source Domain と Target Domain という「二つの領域」間のマッピングという説明よりも、Fauconnier & Turner (1998, 2002 他)の Generic Space, Input Space 1, Input Space 2, Blend Space という「四つの領域」を使って説明する Blending 理論の方が汎用性が高い。)我々としては、直接的なメトニミーのほうを採用したいが、それでもなお、辞書の記述では Lakoff & Johnson 流のメタファーとして処理することも多くなることが予想される。なぜなら、それがもっとも単純だからである。

多重性の例は「小さい」にもある。たとえば[4a]の「小さい会社」は、メトニミー(入れ物で中身：組織で構成員)であるが、この解釈には、その前提として、次のメタファーがあって仲介している。

特性類似：組織(中身をもつ構造体)⇒入れ物(中身を持つ構造体)

特性類似：中身(構成物)⇒社員(構成する人)。

このような場合、我々の辞書では、学習者へのわかりやすさという点に配慮して、矢印を2本引くことはせずに、どちらか一方を選択する。ただし、その選択基準は多分に恣意的にならざるを得ない。しかし、それでも動機付けに区別をつけようとするのは、執筆者としては、このあたりの関係を押えておかななくては、意義展開の脈略が見えず、ネットワークが描けないという事態に陥るからである。辞書利用者にとっては、動機付けの違いはあまり関係のないことかもしれないが、敢えて3種類の矢印を分けて示しているのは、ネットワークの構造を提案する側の説明責任のようなものである。

### 3.5 イメージ

本辞書では、中心義および展開義のそれぞれについて語義説明の他に、理解を助けるためのイメージイラストをつける。このイラストはイメージスキーマの特徴である「互いの関連性・共通性」が分かるようにするが、イメージスキーマで使われる抽象的な記号や矢印はなるべく避けて

具体的に表すようにする。それは、イメージスキーマにこだわると、研究者の目からみた整合性は高くなるが、抽象度が高くなりすぎ、学習者を含めた一般の利用者にとっては必ずしも、語義理解の助けにはならなくなってしまうからである。『Eゲイト英和辞典』ではイメージスキーマに近い「コアのイメージイラスト」を用いていることは記述した。コアのうちイメージで表されるものが極め少ないことも指摘した。この辞書の説明によると、コアは、「語の中核的意味や機能を表したものです。コアは分断され分散されていた意味記述に、意味展開の連続性を回復され読者に語の意味の全体像を示すことを意図した教育的な工夫です。」とし、①図式的なもの、②基本義的なもの、③原義的なもの、④機能的なもの、の4種があるとされる。そして、この辞書の最大の特徴であるはずの①に相当するものが、実は、極めて少なかったのである。これに対し、我々の辞書では、イメージのスキーマ性を出すことにできる限りの努力をしながらも、辞書利用者の便を優先させ、そして、展開義には中心義のイラストとの関連性・共通性が分かるように配慮したイラストを付している。

イメージイラスト間の関連性・共通性については、以下の「小さい」の具体例を参照してもらいたい。イラストは「大きいなにか」と「小さいなにか」を対比させているという特徴を共通に持っている。[0]中心義のイラストでは、当初、立方体で抽象的な物体を表していた。これはイメージスキーマ的な抽象性の高いものであった。検討の結果、無機質な立方体に代えて大小の「車」で具体性を出すとともに、「標準あるいは同種類のほかの物と比べてサイズが下回っている」という説明にみられる、比較、比較基準というスキーマ的な意味も伝わるようにした。

### 3.6 関連語句・文化ノート・参照

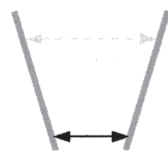
関連語句では、見出し語に関連している語句を扱い、説明する。文化ノートでは、文化的な情報あるいは百科事典的知識にあたるもので、知っておいてもらいたいことを書く。参照は、見出し語の類義語・反意語にあたる語を示す。この関連語句の欄には、他に必要に応じて、たとえば、「小さい」が形容詞であることに対して「小さな」という連体詞の形があることなど、形態・文法的な情報や、以下で述べる類義語などの補足などの追加も検討中である。

## 4. 類義語の扱い

関連語句には見出し語と類義語とを比較して示すことによって、見出し語の意味をより正確に伝えられるという意図から以下のような説明を当初予定していた。

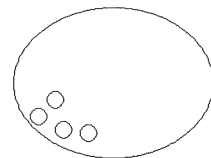
#### \*類義語「せまい」

横の幅についての表現。「川がせまい」は川の幅がせまいこと。「川が小さい」は川の幅がせまいだけでなく、水の量が少なくて短い川。川と同じような形の海峡にはせまいが使えるが、どこが横（あるいは縦）か決まらない池、湖、海には、せまいは使わない。「部屋がせまい」は部屋の幅が狭いことだが、部屋の形はだいたい決まっていて、幅と奥行き（長さ）は比例するので、「小さい部屋」と「せまい部屋」は同じ意味になる。ただし、もとのサイズにかかわらず、たくさんものを置いて、使えるスペースが少なくなった場合には、部屋の幅がせまくなったというイメージがあり、「せまい部屋」とはいうが「小さい部屋」とは言わない。



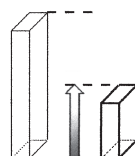
#### \*類義語「少ない」

「数」の多少についての表現。「小さい」は数の全体をひとまとまりとしてとらえるのに対し、「少ない」数の個々を可離散的に見ている。「小さいお金」は紙幣や硬貨がより小額の単位であること。「少ないお金」は金額の合計が少ないこと。



#### \*類義語「低い」

女性や子どもの声は高い。男性の声は低いと表現する。ラジオ・CDなどの音量も高い・低いと言う。「ボリュームを低くする」＝「ボリュームを小さくする。」「低い声」は周波数が低く、男性のバリトンのような声を表



す。


このような説明は確かに有意義であるが、一方紙幅を多く使うことが懸念された。最終的に我々の辞書のこのような類義語との比較説明を採用するかどうかは未定である。

## 5. さいごに

我々は辞書の構想に1年、執筆に1年、編集に1年を計画し、現在2年目になっている。これまでに幾多の試行錯誤を繰り返してきたし、これからも試行錯誤は続く。その間にも KOTONOHA のような大規模で代表性のあるコーパスの整備も進んでいる。英語の主だった辞書ではコーパスベースが当然という状況になっている。遅ればせながら、日本語の辞書でもそうなる日が来るのだろうか。現有資源を最大限に、しかし注意深く利用し、認知言語学の見地と教育的配慮を加え、学習者が使いやすく情報量が多い辞書を早く世に送り出したいと奮闘を続けている。そしてその日が、日本語の新たな辞書の1ページを開く日となることを期待している。

## 参考文献

- 荒川洋平・森山新 (2009) 『わかる!!日本語教師のための応用認知言語学』 凡人社  
国際交流基金・日本国際教育支援協会 (2006) 『日本語能力試験出題基準改訂第2版』 凡人社  
瀬戸賢一編集主幹 (2007) 『英語多義ネットワーク辞典』 小学館  
田中茂範・武田修一・川出才紀編 (2003) 『E ゲイト英和辞典』 ベネッセコーポレーション  
服部四郎 (1968) 『英語基礎語彙の研究』 三省堂  
政村秀美 (2002) 『英語語義イメージ辞典』 大修館書店  
松村明編 (1995) 『大辞林第二版』 三省堂 Web 版 goo 辞書 <http://dictionary.goo.ne.jp/>  
舩山洋介 (1994) 「形容詞カタイの多義構造」『名古屋大学日本語・日本文化論集』 2, pp.65-90  
森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店  
森山新 (2008) 『認知言語学から見た日本語格助詞の意味と習得—日本語教育に生かすために』 ひつじ書房  
Fauconnier, Gilles & Mark Turner (2002) Conceptual Integration Networks, *Cognitive Science* 22, 133-187.  
Fauconnier, Gilles & Mark Turner (2002) *The Way We Think: Conceptual Blending and the Mind's Hidden Complexities*. New York; Basic Books.  
Lakoff, George & Mark Johnson (1980) *Metaphors We Live By*. Chicago: University of Chicago Press.

ちいさい	けいようし イ形容詞 きゆう (4級)	ちい 小さい しょうがっこう ことり おがわ ショウ(小学校)・コ(小鳥)・オ(小川)
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>[0] 小さい</p> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[1] 数・量</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[2] 程度</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[3] 年齢</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[4] 入れ物・中身</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[5] 気・度量・ 夢・希望</div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 20px;">[1a] 音量</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px;">[4a] 組織・構成員</div> </div> </div>		
<p>【0】標準あるいは同種類のほかの物と比べてサイズが下まわっている</p>		
	<p>The size is smaller than the standard or others.                  사이즈 따위가 같은 종류의 비교 대상이나 표준보다 멀하다.                  (与同一规格的物体相比)尺寸小。</p> <p>小さい車 / 箱 / 頭                  小さい面 / 四角形 / 紙 / 顔 / 字 / 湖 / 海                  小さい点</p>	



## 【1】数・量が少ない

The number (amount) is small. / 수・양이 적다. / 数目小; 数量少。



3は8より小さい。  
1万円札を小さいお金に両替する。  
2000ccより排気量が小さい車。

## ↳ 【1a】音量が低い

The sound volume is low. / 음량이 낮다. / 音量低。



スピーカーのボリュームが小さい。  
小さい声でささやく。  
ラジオの音を小さくして聞く。

## 【2】程度が軽い

The degree is small. / 정도가 가볍다. / 程度轻微。



新しいうちは地震の被害が小さかった。  
車の排気ガスが環境に与える影響は小さくない。  
正しい姿勢で歩くと、腰にかかる負荷が小さくなる。  
何事にも小さな障害はある。

## 【3】年齢が低くて若い

A young age. / 연령이 낮고 젊다. / 年齢小。

小さかった頃 (幼かった頃)



## 【4】入れ物が大きくないので、その中身が大きくない、多くない

The container is not big, so the content is not big. / 용기가 크지 않아서, 그 내용물이 크지 않다, 많지 않다. / 容器小, 因此内容量少。

小さいジョッキを飲み干す。



↳【4a】入れ物としての組織が小さいことを述べて、中身である構成員が少ないことを表す

By stating that an organization as a container is small, we show that its constituent members as contents are small in number. / 용기에 해당하는 조직이 작아서, 그 용물인 구성원이 적음을 나타낸다. / 作为容器看待的机构较小, 其内容即构成成分则少。



生産量と年商は業界トップだが、従業員が20人そこそこの小さい会社

【5】気、度量、夢、希望、期待などが大きくない

Spirit, hope, expectation is low. Dream, capacity is small. Narrow-minded. / 배짱, 도량, 꿈, 희망, 기대 등이 크지 않다. / (胸懷、度量、理想、希望以及期望等)微小; 狭小。



気が小さくて自分の意見をはっきり言えない。  
夢が小さくしぼんでしまった。  
小さな希望をずっと持ち続けている。

### 関連語句

「小さな」(連体詞)

名詞の前では「小さい箱 / 小さな箱」の両方の形が可能。  
ただし、「小さな」はナ形容詞ではないので「箱が小さいだ」とは言わない。

文化ノート 📖 「小さい」には価値がないなどのマイナスのイメージがある。へりくだるときに「小」をつけて、「小社」(=わたしのあまり価値のない会社)とするなどの用法がある。

参照 📖 少ない( p)、低い( p)、せまい( p)、大きい( p)

<Abstract>

**Description of the semantic network of an adjective for learners' dictionary  
-An example of *chiisai* (small)-**

Shingo IMAI (Yamaguchi University)

Shin MORIYAMA (Ochanomizu University)

Yohey ARAKAWA (Tokyo University of Foreign Studies)

We discuss the characteristics of a Japanese learner's dictionary, which we are presently developing by using an approach on the basis of the Cognitive Linguistics. The characteristics of this dictionary are as follows. It focuses on basic words. The target readers of the dictionary are intermediate to advanced learners of Japanese. The main purpose of using the dictionary is not to find the meanings of words but to understand the polysemy and semantic expansions of each word. For this purpose, the dictionary does not merely make a list of meanings of words as in the case of most Japanese-Japanese dictionaries but sheds light on the relation of meanings and the whole image of meanings, namely the semantic network structure. We show the mechanism and motivations of the semantic extensions (derivations) from a central meaning (basic meaning). Semantic extensions are motivated by a metaphor, a metonymy, and a synecdoche. We visualize the mechanism of polysemous extensions from the central meaning (prototype), by using arrows and other notations. In addition, we utilize images to facilitate the understanding of readers. Related words are also explained. In this paper, we take up an example of adjectives, which have been less studies in the cognitive linguistic researches compared to verbs and nouns.